



Atsuko Tanaka
—田中敦子—

素天蓮州

STAINLESS STEEL BAR & WIRE

NABEKURA

鋼倉金属工業株式会社 和田山工場

〒669-5252 兵庫県朝来郡和田山町筒江字中山165番地7

TEL 0796 (74) 2011 (代) FAX 0796 (74) 0150

OSAKA・TOKYO





豊岡市民会館でおこなわれたソプラノリサイタル。いっぱいのお客様の前で熟唱。

プロフィール

おおくら ちか（豊岡市出身）
1992年作陽音楽大学（現くらしき作陽大学）音楽学部音楽科卒業、同専攻科入学。1994年同大学オペラマイスタークラス修了。1996年渡伊。ドニゼッティの出身地ベルガモにおいて、ドニゼッティ「愛の妙薬」にジャンネッタ役でイタリアデビュー。1997年～98年にかけて、コンパニーア・ドペラ・イタリアーナ・ディ・ミラノと共に4か月間ブッチャーニ「蝶々夫人」ヨーロッパ公演にコーラスで参加。1999年クレマにおいてドニゼッティ「愛の妙薬」にジャンネッタ役で出演。北島美香、元吉恵子、エイツィア・ロルフイーニ各女史に師事。藤原歌劇団準団員。2000年8月、豊岡市での初リサイタルを成功させる。現在イタリア・ミラノ在住。

オペラ発祥の地、イタリアのミラノへ留学して3年。最初は言葉を自由に話せなくて思いを伝えられず、「ニコニコと笑っておとなしい単なるイイ人で終わってしまうジレンマがありました。イタリアでは自己主張をしっかりとしない人は、何を考えているのかわからないから付き合えない」ということになってしまふのです。でも、気配りや優しさは日本と同じでイタリアでも大切なこと。友達もたくさんでき、イタリアの生活がたいへん気に入っています。ここで生活するようになって、オペラの歌詞の微妙なニュアンスやリズム、発音が理解できるようになり、ぐんとオペラが近くなりました。イタリア人にはイタリア人の素質があつて、歌い方にはテクニックがあることがわかりました。言葉は勉強すれば、しゃべれるようになりますが、音楽は上には上があつて、どこまで行ってもゴールはありません。

今年8月、豊岡市で初リサイタルをおこないました。一時はプレッシャー

で食事ものを通らない時もありましたが、やってほんとうによかったです。同級生たちや第九をうたう会の皆さんが集まって実行委員会を結成し、すべての準備をやっていただきました。また、たくさんの方々に来ていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

豊岡市は人口5万人足らずのまちですが、毎年日本フィルハーモニーをはじめ、さまざまなオーケストラの演奏会がおこなわれ、合唱団、吹奏楽団、バンド、ミュージカル研究会などもあり、音楽への関心がとても高いまちだと思います。この環境の中で生まれ育つて、私自身音楽への興味を小さな時から育ててくれた故郷に感謝します。これからも、ずっと音楽を愛する素敵な故郷であってほしいと願っています。私ももっともっと音楽の勉強をし、将来はプロとして自立できればと思っています。人間性を高めなければ良い歌は歌えない。気負わず、スポンジのようになっていることを、世界から吸収したいと思っています。